

公益社団法人愛知県医師会 第40回(定例)理事会議事録

開催日時：令和2年3月26日(木) 午後2時30分～午後16時41分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／城 義 政 市川朝洋 杉田洋一

理事／伊藤健一 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 檜尾富二

樋口俊寛 瀨瀨雅明 細川秀一 野田正治 林 義久

浅井清和 田那村 收 小出詠子 渡邊源市

監事／川上雅正 野口良樹 横井 隆

代議員会議長／服部 達 哉

代議員会副議長／伊藤宣夫 山本 楯

欠席者

理事／湯澤由紀夫

議事録作成者 柏田 樹

※野口監事遅刻のため、承認事項1から協議事項6については、出席者23名(うち理事18名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

—承認事項—

1. 委員会委員の委嘱について

(1) 勤務医部会の幹事変更について

伊藤理事より説明され、奥田聡先生(名古屋医療センター副院長)から竹田伸先生(同副院長)、浅野昌彦先生(公立西知多総合病院院長)から吉原基先生(同院長)への幹事変更が承認された。

2. 母体保護法指定医師審査委員会の再審査について

西山理事より説明され、3月11日(水)に行われた母体保護法指定医師審査委員会において、未承認とされた新規指定申請者について、次回審査委員会での再審査を行うことが承認された。

3. 日本医師会 ACLS(二次救命処置)研修の指定について

細川理事より説明され、日本医師会指定研修申請することが承認された。

4. あいちビジネス専門学校(日本医師会医療秘書養成課程)における令和2年度授業計画について

樋口理事より2020年度の講師一覧表及び授業計画について説明され、承認された。

—協議事項—

5. 入会金の徴収猶予申請について

西山理事より説明され、名古屋市医師会より申請があった入会金徴収猶予申請が承認された。

6. 会費の減免申請について

西山理事より説明され、半田市医師会及び岡崎市医師会より申請があった会費減免申請が承認された。

7. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 第4回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会(TV会議) 〔3/19(木)〕について

(日本医師会主催：9階大講堂)

浅井理事より、地域の流行状況に応じた医療提供体制の整備について、日本医師会より方策案が出され、都道府県医師会より意見が出されたと報告された。また、濃厚接触者による自主的な就業制限、施設の使用制限に関する考え方のたたき台案について説明された。

【本会関係会議について】

2. 勤務医部会幹事会〔3/18(水)〕について

(801～802会議室)

伊藤理事より、令和3年度全国医師会勤務医部会連絡協議会を愛知県で開催するにあたり、嘱託幹事会(小委員会)にて部長及び副部長を中心に議論することの承認を得たと説明された。フリートークでは「新型コロナウイルス感染対策」について各病院の現状報告とともに活発な意見が交わされたと報告された。

3. 医療圏協議会新型コロナウイルス感染症対策会議〔3/21(土)〕について

(9階大講堂)

伊藤理事より、代議員会終了後に医療圏代表医師会長及び病院長が集まり、新型コロナウイルス感染症の現状及び報告・抱える問題点等について報告があり、愛知県に対し『「不顕性感染者」、「軽症者」及び「症状は軽快したがPCR検査が陰性化しない患者」の一時生活施設を確保すること』の要望書を提出することが了承されたと報告された。また、協議会終了後に、記者会見を行ったと報告された。

4. 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔3/24(火)〕について

(802～804会議室)

樋口理事より、事例報告・検討(令和2年1月分)新規事例81件(No.19-842～19-923)継続相談26件 総計112件(歯科5件)、(令和2年2月分)新規事例79件(No.19-924～19-1003)継続相談28件 総計111件(歯科4件)であったと報告された。専門委員対応事例として「白内障の手術により角膜が傷つけられた。医師へ説明を求めたが断られた」、「インフルエンザ時の薬の投与について」、「患部を見ることなく薬を処方された」、「医師が4年前の通院歴や病状を証明してくれない」の4件について報告、事例検討を行ったと報告された。

5. 令和元年度第3回小児救急連携体制協議会について

細川理事より、2/25(火)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、協議会構成員への資料送付および意見照会の実施をもって書面による開催とし、次年度の事業計画および各種研修会の開催について書面にて承認をいただいたと報告された。

6. 生涯教育委員会について

田那村理事より、3/10(火)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため中止し、書面による開催とし、来年度の日本医師会生涯教育講座について、例年通り各分科医会と共催で8講座開催することが承認されたと説明された。また、県下各医師会での参加証明書の配付状況について情報提供を行ったことを報告された。

7. 医療安全対策委員会〔3/17(火)〕について

(801～803 会議室)

渡邊理事より、令和2年3月分委員会提出案件、55件(新規14件、解決41件)について検討したと報告された。

8. 講演会・研修会等について

細川理事より、下記の本会主催の令和元年度の講習が終了したと報告された。

*は共催・協賛等

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	*R 元. 5/31(金) 始め 27 件	小学生のための救急蘇生法講習	延べ 1,878 名	細川理事 瀬瀬理事

【行政、その他関係団体等会議について】

9. 愛知県医療審議会〔3/24(火)〕について

(愛知県主催：名古屋銀行協会)

柵木会長より、外来医療計画、医師確保計画について承認を得たと説明され、各部会の状況報告があったと報告された。

10. 愛知県医療審議会 5 事業等推進部会〔3/17(火)〕について

(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)

城副会長より、災害拠点精神科病院として、愛知県精神医療センターと松崎病院豊橋こころのケアセンターの指定が承認されたと報告された。地域医療支援病院として、旭労災病院の指定が承認されたと報告された。5 事業等における主な令

和2年度予算について、令和元年度より約900万円増加の31億1,828万円の説明があったと報告がされた。

**1 1. 愛知県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会〔3/18(水)〕について
(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)**

城副会長より、新規医師指定は、17件ありすべて承認と報告された。障害者手帳に関する等級の認定は22件あったが大部分は却下された、指定病院の申請は4件あったと報告された。また、身体障害者障害程度再認定事務処理要領について一部改正されたと説明された。

**1 2. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔3/23(月)〕について
(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)**

杉田副会長より、医科の新規指定は24件、開設者変更は5件、移転は2件であったと報告された。

**1 3. 愛知県看護功労者表彰選考会議について〔3/18(水)〕について
(愛知県主催：愛知県自治センター)**

大輪理事より、愛知県医師会からは5名の看護師及び准看護師を推薦した。他団体も合わせると看護師及び准看護師35名の推薦があり、そのうち34名を受賞者として決定したと報告された。

【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】

1 4. 地域医療支援病院実績報告(平成31年度第3四半期)について

大輪理事より、地域医療支援病院27病院の実績報告がなされ、外来・入院等実績について、名古屋市の特徴としては外来患者延数が減少している、入院患者延数は横ばいとの結果となったこと、救急実績についてはすべての地区で減少傾向にあり、その中でも小児救急患者の数については大幅に減少している病院もあるので注視が必要であることが説明された。

【その他事項について】

1 5. 令和2年度愛知県医療勤務環境改善支援センター運営事業の受託について

柵木会長より本標記の事業の企画提案が採用され、受託することとなったと報告された。

1 6. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

令和2年3月26日